

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	96	地方公共 団体名	徳島県	消防団名	—																				
担当課	消防保安課	連絡先	Tel 088 - 621 - 2284 E-mail syoubouhoanka@pref.tokushima.jp																						
事業名	メディアと連携した消防団員確保事業																								
事業詳細	<p>○事業の目的・必要性 人口減少や少子高齢化等に伴い、消防団員が年々減少しており、地域防災力の低下が懸念されている。南海トラフ巨大地震発生の危険が高まる中、地域防災力を強化するためには、消防団の魅力・認知度向上に努め、団員確保や団活動の活性化を図る必要がある。</p> <p>○事業内容 本県では、メディア（CATV、FMラジオ）と連携し、消防団の認知度向上やイメージアップのため、番組制作・放送を行うとともに、ママ防災士と連携したワークショップ等を開催した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(CATVと連携した消防団PR番組より)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(女性団員・防災士らによるワークショップ)</p> </div> </div> <p>○目標達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>単位</th> <th>当初目標値</th> <th>実績値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「消防団」をテーマにしたPR放送等</td> <td>回数</td> <td>2回</td> <td>10回</td> <td>FMラジオ インタビュー8回・特番1回 CATV 特番1回 ※FMラジオについては、フットワークの軽さを活かし、短時間のインタビュー番組を複数制作・放送できた。</td> </tr> <tr> <td>ワークショップ、成果発表会等に参加する消防団員等</td> <td>人数</td> <td>200人</td> <td>105人</td> <td>第1回ワークショップ16名 第2回ワークショップ32名 トークセッション 57名 ※多くの消防団員などが参加することが有効である反面、ワークショップは人が多すぎると小集団による密度の高い意見交換・交流が進みにくいため、当初目標値が過大であった。</td> </tr> <tr> <td>研修会、意見交換会等</td> <td>回数</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>ワークショップ2回、 トークセッション（WSの成果発表会）1回 計3回開催 ※ワークショップを2回開催することで、参加者どうしの交流が深まり意見交換の精度を高めることができた。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この事業を通して、女性消防団員とママ防災士が意見交換を行うことで、相互に課題・問題意識を共有することで、関係が構築できた。今後も引き続き消防団員と防災士の交流を深め、地域防災力向上につなげる。また、トークセッションで得られた課題解決策は、消防団の活性化や団員確保に向けた取組みに活かしていく。</li> </ul> <p>その他参考情報 ※URLの記載などをお願いします。</p>					指標	単位	当初目標値	実績値	備考	「消防団」をテーマにしたPR放送等	回数	2回	10回	FMラジオ インタビュー8回・特番1回 CATV 特番1回 ※FMラジオについては、フットワークの軽さを活かし、短時間のインタビュー番組を複数制作・放送できた。	ワークショップ、成果発表会等に参加する消防団員等	人数	200人	105人	第1回ワークショップ16名 第2回ワークショップ32名 トークセッション 57名 ※多くの消防団員などが参加することが有効である反面、ワークショップは人が多すぎると小集団による密度の高い意見交換・交流が進みにくいため、当初目標値が過大であった。	研修会、意見交換会等	回数	2回	3回	ワークショップ2回、 トークセッション（WSの成果発表会）1回 計3回開催 ※ワークショップを2回開催することで、参加者どうしの交流が深まり意見交換の精度を高めることができた。
指標	単位	当初目標値	実績値	備考																					
「消防団」をテーマにしたPR放送等	回数	2回	10回	FMラジオ インタビュー8回・特番1回 CATV 特番1回 ※FMラジオについては、フットワークの軽さを活かし、短時間のインタビュー番組を複数制作・放送できた。																					
ワークショップ、成果発表会等に参加する消防団員等	人数	200人	105人	第1回ワークショップ16名 第2回ワークショップ32名 トークセッション 57名 ※多くの消防団員などが参加することが有効である反面、ワークショップは人が多すぎると小集団による密度の高い意見交換・交流が進みにくいため、当初目標値が過大であった。																					
研修会、意見交換会等	回数	2回	3回	ワークショップ2回、 トークセッション（WSの成果発表会）1回 計3回開催 ※ワークショップを2回開催することで、参加者どうしの交流が深まり意見交換の精度を高めることができた。																					